

# 平成 15 年度石川県保育士試験問題

## 発達心理学 (その1)

[解答は全て解答用紙に記入すること。]

1 次の人物と最も関連する用語を下記の語群から 1 つ選び、記号を記入しなさい。

- (1) トマスとチェス      (2) ピアジェ      (3) ブロンフェンブレンナー  
(4) ヴィゴツキー      (5) ジャンセン

(語群)

ア 生態学的視覚論	イ 環境閾値説	ウ 刻印づけ	エ 役割取得	オ 環境論
カ 発達の最近接領域	キ 一年早産説	ク 認知構成主義	ケ マザリング	コ レディネス
サ 新奇場面法	シ 比較行動学	ス 輻輳説	セ 気質	ソ 生態学的システム論

2 乳幼児期の発達に関する次の用語を正しく説明する文章を下記から 1 つ選び、アルファベットを記入しなさい。

- (1) 社会的参照      (2) 情動調律      (3) アタッチメント      (4) 再接近期危機      (5) 社会的ネットワーク理論

- a 母親が、理屈抜きに赤ちゃんにほれこみ、赤ちゃんの要求や喜びを細やかに汲み取るこころの働き。
- b 乳幼児はその依存性ゆえに、早期から、養育者が自分に關心を向けているかどうかを敏感に察知する能力を発達させる。
- c 度重なるトラウマを受けると、不安や動揺から周囲の世界を歪んで認識し、暗い感情と行動のシステムを発達させて不安定な機能をもつ脳と悲観的な心を形成する。
- d 乳児が特定の養育者との間に結ぶ情愛の絆で、それにより乳児は安心感と充足感を感じる。
- e 歩行によって芽生えた自律意識（世界への探索）と、母親への回帰（分離不安）という両価的な感情を味わい抜きながら、ものごとの両面を統合的にとらえ、母親のイメージを内在化し個として分立していく心が育ってくる。
- f 乳幼児は養育者の感情的サイン（表情、声、しぐさなど）から、ある事象が正負いずれの価値をもつのか、自分がどのように行動すべきかを読み取ろうとする。
- g 養育者から情緒的トーンや、行動の背景にある主観的状态に合わせてもらうことにより、乳児は世界をオーガナイズする主体としての自己を体験していく。
- h 養育者の心の深い所の葛藤が、無意識に乳幼児に向けられ（投影）、自分がされたいやなことを子どもにもしてしまう現象。
- i 子どもは誕生と同時に、多様な人物から成り立つ絆を形成し、これらの人々との相互作用を展開する能力をもっている。
- j 養育者が、ありのままの一人ひとりを、かけがえのない存在として尊重し、慈しみ育む姿勢。

受験番号

# 平成 15 年度石川県保育士試験問題

## 発達心理学 (その2)

3 次の各発達期の特徴を最もよく示す用語を下記の語群から2つずつ選び、その番号を記入しなさい。

- (1) 乳児期      (2) 幼児期      (3) 児童期      (4) 青年期      (5) 成人期

(語群)

心の理論	アイデンティティステイタス	結晶性知能	道徳性の獲得
様相間統合	生殖性 対 自己陶醉	保存概念の成立	基本的信頼感
形式的操作	語彙の爆発		

4 幼児の仲間関係の発達過程について、下記の語句を発現する順に並べかえ、現われる時期を示しながら発達の特徴を述べなさい。

[子どもとの積極的な交渉、相互規制、子どもとの受動的な関係、相互交渉・自己顕示]

5 子育て支援において、保育者が親へ助言を行なう際に、どのような姿勢・態度がのぞまれるか。カウンセラー的な態度と共に、単なるカウンセラーとは異なる、保育者としての独自の視点や方法についても具体例をあげながら述べなさい。

受験番号